

★映画人九条の会7・19学習集会

「改憲」はどこまで来たか？

■日時／2006年7月19日(水)18:45～20:40

■場所／東京・文京区民センター2A ■参加費500円

■講師／桂敬一(立正大学講師)+美浦克教(MIC議長)

共謀罪、教育基本法「改正」案、国民投票法案、米軍再編のための3兆円抛出——。小泉政権の終幕に来て、「戦争する国」づくりに向けた「改憲」の策動が次々に襲いかかってきています。果たして「改憲」の津波は、どこまで押し寄せてきているのか。「改憲」勢力の狙いとは何か。私たちは今、どういう運動をしなければいけないのか。

映画人九条の会は、マスメディアとジャーナリズムの研究者である桂敬一さん(立正大学講師)と、MIC議長の美浦克教さんを講師に招いて、今、みんなが知りたいことを知り合う学習集会を計画しました。ぜひご参加ください！

★映画人九条の会9・15上映会

「蟻の兵隊」 & 池谷監督・山田朗対談！

第二次世界大戦の終結後、中国山西省に駐屯していた北支方面軍第一軍の将兵1万人は、武装解除を受けることなく、敵であった国民党の司令官に引き渡されました。世界の戦争史上、類をみないこの売軍行為は、戦犯逃れを目論む日本軍司令官と、共産軍の圧力を恐れた国民党司令官の密約によって引き起こされた一大スキャンダルでした。残留を余儀なくされた2600名余りの将兵は、戦後なお4年間も共産軍と戦い、550名が戦死するなど多くの悲劇を生みました。

映画「蟻の兵隊」は、北支方面軍第一軍の日本兵だった奥村和一さんが執念で戦争の軌跡をたどり、驚くべき残留の真相と戦争の実態を暴いた、優れたドキュメンタリーです。香港国際映画祭では、「人道に関する優秀映画賞」を受賞しました。

映画人九条の会は来る9月15日(金)、「蟻の兵隊」上映+池谷薫監督と山田朗さん(明治大学教授/「護憲派のための軍事入門」著者)の対談を計画しました。ぜひご参加ください。

■日時／2006年9月15日(金)18:45～21:00

■場所／東京・文京シビック小ホール ■参加費 1200円(前売券 1000円)

★ともに主催は映画人九条の会／〒113-0033 東京都文京区本郷2-12-9 グランディールお茶の水301号
TEL 03-5689-3970 FAX 03-5689-9585 Eメール=webmaster@kenpo-9.net